この言葉は極めて当たり前で、

ている人はまずいません。自分のかし、これを毎日のように意識し口にしたことがあるでしょう。し誰もが理解し、経営者なら一度は は必然のように出てくるのです。 なかでそう思えるとき、 私があらためてそう思い知らさ 、この言葉

をやろうと思ったのです。 いないときで、このことで人生のあったものの、まだ独立起業して 不慮の事故でなくしたときでした。 れたのは、学生時代の親友を突然、 せ一度の人生」なら、やりたいこと はかなさを思い知らされ、「どう つかは起業するんだとの思いは

定ともいえます。 じつはTKPの海外進出はある この言葉に起因した意思決

ブ



で貸会議室をオープンするわけで から、並みたいて いの努力では

払っています。

TKPのニュー

Ė

クカ

術を用 うと、 のです。 からいたるところで開かれているフェイスtoフェイスの会合が朝 ジするかもしれませんが、じつは ニューヨークのビジネスマンとい TV会議など最新のIT技 いたミーティングをイメー

と考えています。今年11

月のオー

今まさに大詰めを迎

提供することが最大の強みになる

ティングやセミナ は朝からビジネスマンたちのミー います。ですからホテルの宴会場あるホテルの宴会場で行なわれて ているのです。 マンの会合は、このエリアに多数 付きとはいえ、 しかもブッフェと ーで活況を呈し

判断す

いま、

円高による日本企業の国

経営利益の範

内で

大きな挑戦は

えています。 プンを控え、

成功しません。 しかもマンハッタンのビジネス もちろん、 勝算はあ ´ます。

から10倍という破格の料金を支

ことは、

為替の現状では輸出で利益を出す 内空洞化が叫ばれています。この

ます

[^]。またEU危機をはじめとす 相当の努力が必要とされ

る欧米経済の減速、閉塞感、さらに

ドタウンに「TKPニューンタウカンファレンス(PD コークカンファレンス(ター」がオープン名(容のまる・286セミナー、 8名~286セミナー、 11年のでは、 11年

ります。 お問合せ/050-

アメリカを エスリカを

目指すのか

は現在1億2000万人程度しか当然のことでしょう。日本の人口 経済圏にすぎません。 を合わせても6000万人程度の 人口とすれば、日本は法人ニーズいません。労働人口イコール消費 るのはいまの日本の企業にとってことができたら、海外進出を考え 国内事業である程度利益を出す

を図ろうとしているのは当たり前国本土やアジアを中心に海外進出 つまり日本企業の多くがいま、中 これはごく自然な経済行為です。 きく魅力的なマー れ、企業はその変化に応じより 経済は人口動態の変化に左右さ ケッ トに挑む。

> 進出は日本の「域内貿易」に過ぎず、でも私から見れば中国、アジア 聞かれることです。 ぜ 世は今や円高ドル安、しかも成長リアに進出することを試みました。 界に向けて打って出ることだと考 ん。TKPとしての海外進出は、世円の経済圏のなかでしかありませ のことなのです 鈍化がささやかれるアメリカにな クマンハッタンのミッドタウンエ えるからこそ、あえてニューヨー いま、進出するのか。これはよく

成功するという約束などありませ が強いからといってもいいでしょ クで成功してみせるという気持ち ん。それよりもむしろ、ニュー 一言でいえば、挑戦です。絶対に ヨー

では、なぜニュー ヨー クなのか

> の他の地域はおろか、イ心地で成功しなければ、 済である限り、 を問うてみようというわけです。 るニューヨークの地で、その真価 てきたことを、世界経済の要であ これまでTKPが日本国内でやっ とはおぼつかないでしょう。つまり、 世の中の主要経済が資本主義経 主義の中心地であるからなのです。基軸通貨であるドルの国、資本 ん中、世界経済の中心地だからでそれはこの地が資本主義のど真 もフランス、ドイツでも成功するこ この世界経済の中 イギリスで アメリカ

が高く、また意外と法律によるい地域です。マンハッタンは物価 2000円もします。そんな地域料も桁外れです。駐車場は30分で 規制も厳しく、 ニュー ヨークは参入障壁が高 さらに物件の賃

シ 行

海外進出に挑戦することの意義について述べてみたい。失ってしまう恐れがあるからだ。今回は、メーカーや小売などのニッポン離れが進むなか、 挑み続けることの大切さを忘れてはならない。企業の将来に向けた成長の機会をベンチャー企業はもちろん、歴史ある上場企業であっても、新しいものに

どのホテルの宴会場よりも安価で、の最高の立地を確保していますが、レンスセンターは、マンハッタン 他のホテルに負けない付加価値を ベンファ 多くなっています。しかし、このこ出についてもネガティブな報道がは中国の成長鈍化もあり、海外進 るのは、きわめて短絡的です。 欧米進出はチャンスがゼロと考え とだけを見て、 日本企業にとって

います。
います。
こ・こ・単一カ棒等できれば、まったくといってよいほどれば、まったくといってよいほど 激化した成熟産業内の ド・オーシャンでの話です。 あえていうならば、それは競争 ・オーシャン戦略が構築でき いわばレッ ブ

進国の デルー・オーシャンになります ブルー・オーシャンになります ます。それを見つけ、 たちが形成した経済圏だと考えれ 戦するべきだと思います ジネスに転換していけば、 から)気付かれていないものをビ ば、その習慣の違いを利用した思 いもよらない切り口は必ず存在. たとえば、欧米は習慣が違う 「飛び地」進出へ果敢に挑できるなら、日本企業は先 (習慣の違い それは

こその、 ることが前提です。つまり利益が 性の追求と冒険心を持って挑んでも意味がありません。成長の可能 めには経常利益の範囲内で挑戦す クする挑戦なのです しかし一方で、 経営者ならではのワクワ 無謀に進出 から。そのた

> ないといったギャンブルに打ってしまい、これがダメだったら後が せん。取っていいリスクは経常利 出るようなことであってはなり しまい、これがダメだったら後がる挑戦です。軽々に社運をかけて ま

カピカに磨き上げ、海外から参入 日本域内での成功事業をさらにピ 大きく方針転換し、日本あるいは つもりでいます。かりにこのチャ ンファレンスセンターが成功しな い障壁を高くすることに経営資源 してもムダだと思わせられるくら レンジがダメになるようであれば、 いと踏めば、いさぎよく撤退する

げるための確かな礎となるのです その後のさらなる成長を遂 痛い失 \sim 0 あ

かわの・たかてる 1972年、大分県生まれ。 慶應義塾大学商学部卒業後、伊藤忠商事株 式会社為替証券部入社。日本オンライン証券 (現・カブドットコム証券)、イーバンク銀行 (現・楽天銀行) の立ち上げプロジェクトに参 間し、ITと金融の融合事業を手がける。イーバンク銀行で取締役営業本部長等を歴任した後、2005年8月、株式会社ティーケービーを テルパシフィック東京1F宴会場)の運営を開 始。ニューヨーク、上海にも進出を果す。現在、 全国約800室、5万席以上を運営する業界の リーディングカンパニーである。

株式会社ティーケーピー 代表取締役社長

敗も、 挑戦に生かすのであれば、 ります。そして、その経験を次 からこそ手に入る貴重な経験も 営者はいません。しかし、挑戦した を集中させるでしょう。 益の範囲内と考えるべきです。 そもそも失敗を前提に考える経 TKPでもこのニューヨークカ